

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長

(氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,129	0.5	14	—	△10	—	△13	—
24年3月期第3四半期	2,119	△25.5	△38	—	△73	—	△116	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 38百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.65	—
24年3月期第3四半期	△39.00	—

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,285	1,747	38.3	547.39
24年3月期	4,534	1,732	36.5	552.37

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,641百万円 24年3月期 1,656百万円

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年3月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,036	—	△58	—	△93	—	△97	—	△31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	2,998,200 株	24年3月期	2,998,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	2,998,200 株	24年3月期3Q	2,998,200 株

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の医薬品業界では、医療費抑制政策による後発薬の拡大や薬価の改正等の影響を受けた大手製薬企業において、研究開発の効率化を目的とした非臨床試験段階でのパイプラインの絞り込みと、委託費用の圧縮が継続しております。このため当社グループの主力事業が大きく関わる非臨床試験市場では、CRO(受託研究機関:Contract Research Organization 以下「CRO」と言います。)間での激しい受注競争が続いております。

当社グループでは、厳しい経営環境に対処すべく経営合理化策を更に進め、経営改善に取り組んでまいりました。サル在庫適正化を図るなどして飼育室の合理的運用を進め、変形労働時間制を導入し、その他徹底したコスト削減に取り組みました。また、受注拡大に向けて特色ある試験系の開発や新たな分野の立上げを進め、従来の医薬品以外の市場開拓、顧客開拓も積極的に進めております。さらに営業活動につきましては、従来の活動に加えて各取締役等による階層別営業を実施するなど活発に実施しております。併せて、需要の見込まれる非臨床試験周辺業務ならびにその他新規事業の開発も進め、以前より独立行政法人科学技術振興機構の支援を受けて産学共同で取り組んでいるモデル開発についても継続して進めております。

非臨床試験では、前年同四半期実績と比べ、売上高は減少となりましたが営業利益は上回ることが出来ました。しかしながら医薬品開発市場における非臨床ステージでの長期毒性試験の減少は依然続いており、受注の減少に伴う稼働率の低下と価格競争による利益率の低下が続いております。この状況を受けて、現在、同分野に関する固定費の大幅削減を進めております。

臨床試験では、大型の探索QT試験が売上となりました。また、現在実施中の試験があるほか、これからの試験実施に向けた問い合わせも複数頂いており、具体的な協議を進めております。

環境では、大型設備工事に加えて物品販売が売上となっております。また、大型のスクラバー設置工事が受注となりました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,129,239千円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は14,375千円（前年同四半期は営業損失38,701千円）、経常損失は10,383千円（前年同四半期は経常損失73,451千円）、四半期純損失は13,961千円（前年同四半期は四半期純損失116,942千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第3四半期連結累計期間では、売上高は前年同四半期実績を下回りましたが、経費削減等により営業利益は上回ることが出来ました。売上高は1,878,401千円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益は25,549千円（同14.8%増）となりました。

② 臨床試験

第I相臨床試験における探索QT試験の売上がありましたが、現状では経費が先行しております。売上高は106,572千円（前年同四半期比522.4%増）、営業損失は13,313千円（前年同四半期は営業損失36,212千円）となりました。

③ 環境

大型設備工事及び動物飼育機材と、既存設備保守の売上がありました。売上高は144,266千円（前年同四半期比86.9%増）、営業利益は2,139千円（前年同四半期は営業損失24,751千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は4,285,273千円となり、前連結会計年度末と比較して249,392千円減少しました。本減少は主に、在庫削減に伴う原材料及び貯蔵品の減少と、子会社の土地建物売却に伴う有形固定資産の減少によるものです。

負債の部の残高は2,538,211千円となり、前連結会計年度末に比べ264,344千円減少しました。減少の主な要因は、在庫削減に伴う買掛金の減少と、賞与支給取り止めに伴う賞与引当金の減少によるものであります。

純資産の部の残高は1,747,061千円となり、前連結会計年度末に比べ14,952千円増加しました。本増加は主に、少数株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年11月13日に公表致しました通期連結業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	334,457	387,296
受取手形及び売掛金	231,748	247,069
商品及び製品	2,821	3,211
仕掛品	759,567	755,537
原材料及び貯蔵品	215,725	156,778
その他	168,973	117,987
貸倒引当金	△47	△215
流動資産合計	1,713,246	1,667,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,540,023	3,511,102
減価償却累計額	△1,882,184	△1,993,062
建物及び構築物（純額）	1,657,839	1,518,040
土地	819,982	781,802
その他	952,314	943,821
減価償却累計額	△742,213	△767,397
その他（純額）	210,100	176,424
有形固定資産合計	2,687,922	2,476,267
無形固定資産	89,354	71,199
投資その他の資産		
その他	39,097	66,285
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	38,197	65,385
固定資産合計	2,815,474	2,612,851
繰延資産	5,944	4,755
資産合計	4,534,666	4,285,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,492	174,618
短期借入金	220,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	391,224	282,961
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	11,421	4,130
前受金	761,307	749,993
賞与引当金	53,350	—
その他	215,094	190,376
流動負債合計	1,952,888	1,762,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
固定負債		
社債	180,000	150,000
長期借入金	451,690	445,500
退職給付引当金	3,046	1,606
役員退職慰労引当金	53,750	51,500
その他	161,181	127,524
固定負債合計	849,668	776,131
負債合計	2,802,556	2,538,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	444,484	406,537
株主資本合計	1,730,064	1,692,117
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,958	△50,912
その他の包括利益累計額合計	△73,958	△50,912
少数株主持分	76,002	105,856
純資産合計	1,732,109	1,747,061
負債純資産合計	4,534,666	4,285,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,119,681	2,129,239
売上原価	1,611,024	1,638,212
売上総利益	508,657	491,027
販売費及び一般管理費	547,358	476,651
営業利益又は営業損失 (△)	△38,701	14,375
営業外収益		
受取利息	112	309
受取賃貸料	6,730	9,854
その他	2,865	2,155
営業外収益合計	9,708	12,320
営業外費用		
支払利息	26,667	19,715
為替差損	9,911	12,098
その他	7,879	5,264
営業外費用合計	44,458	37,078
経常損失 (△)	△73,451	△10,383
特別利益		
固定資産売却益	405	73,330
特別利益合計	405	73,330
特別損失		
減損損失	69,312	7,603
特別損失合計	69,312	7,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△142,359	55,343
法人税、住民税及び事業税	4,626	22,771
法人税等調整額	△30,979	24,555
法人税等合計	△26,353	47,326
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△116,006	8,016
少数株主利益	935	21,978
四半期純損失 (△)	△116,942	△13,961

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△116,006	8,016
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28,340	30,920
その他の包括利益合計	△28,340	30,920
四半期包括利益	△144,346	38,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,861	9,084
少数株主に係る四半期包括利益	△4,485	29,853

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	2,025,356	17,123	77,202	2,119,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,025,356	17,123	77,202	2,119,681
セグメント利益 又は損失（△）	22,262	△36,212	△24,751	△38,701

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「臨床試験」セグメントにおいて、子会社が保有する臨床試験施設の売却意思決定を取締役会にて決議したことに伴い、当該資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を固定資産の減損損失として計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は69,312千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	1,878,401	106,572	144,266	2,129,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,878,401	106,572	144,266	2,129,239
セグメント利益 又は損失（△）	25,549	△13,313	2,139	14,375

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。